

年頭のごあいさつ



周防大島町長

中本 富夫

あけましておめでとうございます。
すがすがしい新春を迎え、心からお慶び申し上げます。平素から町民皆様方の温かいご理解とご協力によりまして、町政は順調に推移いたしておりますことに対し、衷心より感謝を申し上げます。

昨年は、国会において郵政民営化法案に端を発し、衆議院が解散して総選挙になりました。激しく変化する社会・経済・国政状況の中にあって、戦後政治の岐路に立つ日本を象徴するような一年でありました。

さて、大島郡四町が合併し、「周防大島町」が誕生して早くも一年が経過いたしました。市町村合併の最終目標は、そこに住む人々が今まで以上に信頼関係を育み、心を一つにして「町づくり」ができる力強い体制を整えることだと考えております。大島には、共に助け合い、支え合う相互扶助の精神が古くから根付いております。町の規模が大きくなればなるほど、今まで以上にそれぞれの地域での取り組みや活動が重要になってまいります。

新町総合計画の基本構想の将来像として掲げました「元気にここに安心して二十一世紀にはばたく先進の島」の実現に向けた取り組みとして、町内全域に防災行政無線の整備、一般廃棄物最終処分場及びリサイクルセンター並びに斎場の建設、東和総合支所・星野記念館の設計など旧町からの引き継ぎ事業の実施や、合併前の取り決め事項の推進をするとともに、合併効果の早期実現を図るため事業の見直しや、費用対効果によるコスト意識の徹底に努めているところであります。

また、教育面でも、学校教育と社会教育の整備、充実を図りながら「にこにこのある」まちづくりに努めます。特に日本の将来を託し、本町の未来を担う子どもたちにもふさわしい教育環境整備が急務であります。急激な少子化が進む中、活力と特色ある学校づくりのために全町的視野と長期的展望に立って学校統合に取り組んでまいります。

終わりに、町民の皆様との相互理解を深め、手を携え明るく住みよいまちづくりに、粉骨砕身努力してまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。本年が皆様にとりまして幸せを実感できる素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。